

きらり

第3号では、各学部の1年間の取組の様子と多良木町子ども人権作品学校巡回展に出品した作品を紹介します。

❀小学部の取組❀

「ともだちと ちからをあわせてやってみよう！」

小学部は2学期に引き続き、友達と協力する良さや大切さについて考える学習をしました。学習のはじめは全員で手をつなぎ、小学部の人権テーマソング「手をつなごう」を歌いました。日頃関わりが少ない友達と進んで手をつないだり、下級生に優しく手を差し出したりする様子が見られました。その後チームに分かれ、パラバルーンを使ってボールを転がし、箱に入れるゲームに取り組みました。回数を重ねていくうちに、動かす力を緩めたり、「せーの」と声を掛けたりする姿が見られるようになり、最後まで一緒に友達と協力しながら活動できました。

❀中学部の取組❀

「みんなが生き生きと暮らせる社会～高齢者」

中学部は、「高齢者」をテーマに、学習を行いました。「高齢者は何歳からのことをいいますか?」「加齢に伴う変化にはどのようなものがありますか?」の質問に対して、身近な祖父母などを思い出しながら考え、多くの意見を発表することができました。また、困っている高齢者に対してどのような対応や取組をしたらいいかをイラストを使いながら考えました。「席を譲る」「荷物を持ってあげる」「エスカレーターやスロープをつける」など活発に自分の意見を出し合うことができ、みんなで支え合いながら社会を作っていくことの大切さを知ることができました。

❀高等部の取組❀

「人権問題について考えよう」

高等部では、1年生は「インターネットと人権」、2年生は「北朝鮮拉致問題」、3年生は「統一応募用紙」等について学習を行いました。「インターネットと人権」では、スマートフォン等の普段の使い方を振り返りながら、個人情報拡散の危険性等について学習しました。「北朝鮮拉致問題」では、アニメ「めぐみ」の視聴を通して、横田めぐみさんのことや拉致被害者の家族の心情について考えました。「統一応募用紙」では、「言わない・書かない・提出しない」の原則と違反質問があった場合の対応について考えました。学んだことを日常で生かしてほしいと思います。



多良木町子ども人権作品学校巡回展

1月に、本校で「多良木町子ども人権作品」の巡回展が行われました。多良木町にある学校の児童生徒が考えた身近な差別やいじめの防止、相手を大切にする心を表現した人権標語と人権絵手紙が展示されました。

本校からも多くの児童生徒が応募をしました。本校児童生徒が応募した作品をご紹介します。

【標語】

※児童生徒が書いた字をそのまま表記しています。

- ともだちを だいじにすることは ありがとう
- 考えよう 相手の気もち だいじょうぶ？
- ありがとう その一言が うれしいな
- 勇気を出して 話しかけたら
相手も自分も うれしいな
- ともだちと にこにこえがお たのしいな
- あの子には 私にない 良さがある
私にも あの子にない 良さがある
- 少しの 思いやりと 勇気で 変わる 現状
- 悪口は 人が 傷つく 言葉の 矢
- 他人とは 自分を 映す 姿見だ
- 悪口は 人の 心を 傷つける
- 心の傷 必ず 治るとは 限らない

【絵手紙】

